

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000055"/>	整理番号 <input type="text" value="11609"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="衛星運動型高速向流クロマトグラフ装置"/>		
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>
適用製品	<input type="text" value="天然物由来の生理活性物質、タンパク質や糖類などの生体内高分子物質、有機合成"/>		
目 的	<input type="text" value="物質の分離・精製に対し、分離効率の優れた液-液分配クロマトグラフィーを提供する。"/> <input type="text" value="特に、固定相に充填剤を用いるクロマトグラフィーを使用することで、変性、吸着してしまう物質や有機溶媒の使用で生理活性が低下してしまう物質の分離に有効である。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本発明は、テフロンチューブをコイル状に巻き付けて作製したカラムが横に自公転する惑星運動を行いながら更に中心軸の周りを公転するいわゆる衛星運動を行うことで物質の分離を行う高速向流クロマトグラフ装置である。"/> <input type="text" value="カラムが月の位置にあるとすると、この運動は月-地球-太陽(中心軸)の関係にある3重回転である。中心軸から装置内部に導入された送液チューブはねじれを解消しながら配管させることができるため、ロータリーシールなどを必要とせずに高速回転を達成することができる。また、回転を制御することで、公転半径の異なる惑星運動型の回転を行うことも可能なため、従来の高速向流クロマトグラフ装置としての機能も保持している。"/> <input type="text" value="本装置は、有機溶媒-水系二相溶媒のほか水性二相溶媒も使用可能であると考えられるため、疎水性の高い物質から親水性の高い物質まで幅広い範囲で分離・精製に利用できることが期待される。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな)	<input type="text"/>		
氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp